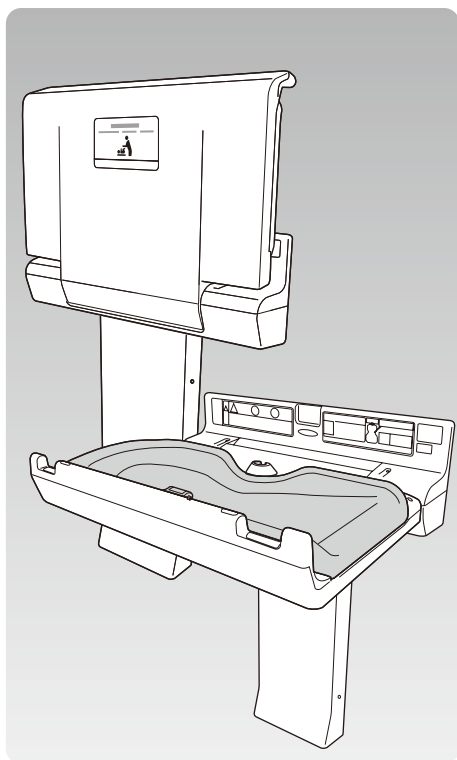


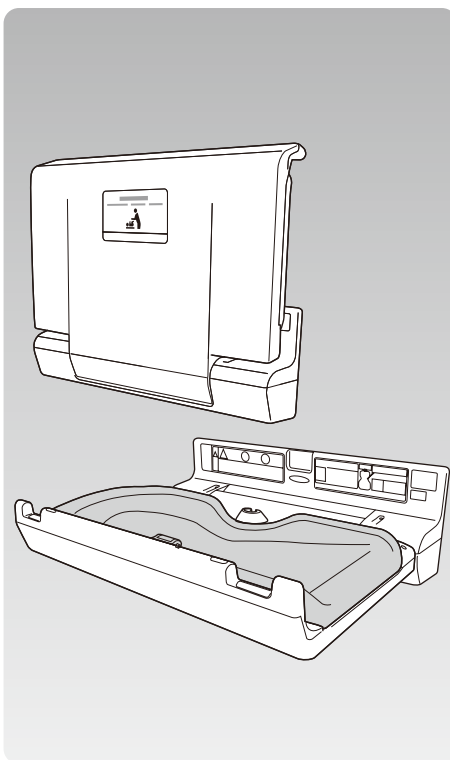
保存版

Combi 横型おむつ交換台OK21 取扱説明書・点検マニュアル

〈保証書付〉



Combi 横型おむつ交換台
OK21F
〈脚付きタイプ〉



Combi 横型おむつ交換台
OK21W
〈脚なしタイプ〉

本書はCombi 横型おむつ交換台OK21を安全に、また快適にご使用いただくために必要な内容が記載されています。ご使用前によくお読みの上、正しくご使用・点検ください。また、本書は大切に保管してください。

目 次

■取扱説明書 2～6ページ

■点検マニュアル 7～16ページ

日常点検 7～10ページ

日常点検チェックシート 11ページ

定期点検 12～15ページ

定期点検チェックシート 16ページ

■部品交換手順書 17～21ページ

リトラクターの交換手順 17～21ページ

レシーバー(バックル受け)の交換手順 21ページ

■保証書 22ページ

Combi 横型おもつ交換台OK21



取扱説明書

1 製品の用途


施設に設置される折りたたみ式おもつ交換台です。壁に対して、使用者が横に立って作業する横型タイプです。

2 安全にお使いいただくために


ここに示した注意事項は、取り扱いを誤るとお子さまや操作しているかたへ危害や物的損害の発生が予想される事項を、危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」「注意」に区分し表示しています。ご使用前によくお読みの上、安全のために必ずお守りください。

 警告	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示を無視し誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が起こる可能性がある内容を示しています。

3 施設のかたへのお願い

 警告	● 製品を改造しないでください。 思わぬ事故につながるおそれがあります。
	● 製品を安全に使用していただくために、日常点検と定期点検をお願いします。 点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。
	● 故障した製品は、放置しないでください。 誤って使用したり、お子さまが遊んだりすると、ケガや重大事故の原因になります。
	● 目的以外の用途でのご使用はおやめください。

点検方法は7～16ページの「点検マニュアル」をご確認ください。

 注意	● 対象月齢のお子さまのおもつ替え作業以外の目的にはご使用させないでください。 故障の原因になります。
	● 故障した製品はご使用させないでください。事故につながるおそれがあります。 故障を発見したときはただちに使用中止の表示などでご使用できないようにし、コンピュータサービスセンターまでご連絡・修理依頼を行ってください。

本製品はお子さまのおむつ交換専用台です。設置後は定期的に清掃し清潔に保ってください。
点検・部品交換後も作業の汚れが残らないように清掃してください。

お手入れ方法

- 清掃する場合は中性洗剤を薄めたものでふいたあと、さらに水ぶき、乾ぶきで洗剤分、水分の残らないようにふきあげてください。



注意

製品にホースなどで水をかけたり、極度の湿気を与えたりしないでください。部材が腐食することで製品が脱落し、けがや重大事故につながるおそれがあります。



注意

中性洗剤以外の洗剤を使用することは、おやめください。(プラスチックの劣化や退色、またヒビ割れが発生し破損することがあります)

4 製品仕様

製品種類	折りたたみ式おむつ交換台	
品番	OK21F	OK21W
製品名	Combi 横型おむつ交換台 OK21F	Combi 横型おむつ交換台OK21W
仕様	リトラクターベルト 仕様の脚付きタイプ	リトラクターベルト 仕様の脚なしタイプ
対象月齢	生後1ヵ月～2才半(30ヵ月)まで	
体重限度	15kgまで	
耐荷重	耐荷重面合計:40kg (ホールディングクッション:15kg、荷物置きスペース:15kg、荷物掛け:左右各5kg)	
外形寸法 (標準仕様)	[閉時]W772×D155×H1,323mm ※D...参考値。壁の種類によりD141mmに変更可。 [開時]W772×D611×H972mm	[閉時]W772×D155×H614mm ※D...参考値。壁の種類によりD141mmに変更可。 [開時]W772×D611×H264mm
質量(標準仕様)	23kg	18kg
色	クリアホワイト(CW)	
材質	本体:鋼(防錆処理)、ABS樹脂 張り材:合成皮革	
耐用年数	7年(メンテナンス部品を除く) 耐用年数を経過しましたら、お取り替えをお願いいたします。	

※メンテナンス部品とは、ホールディングクッション、樹脂カバー類、ステッカーなど交換を前提とした部品です。

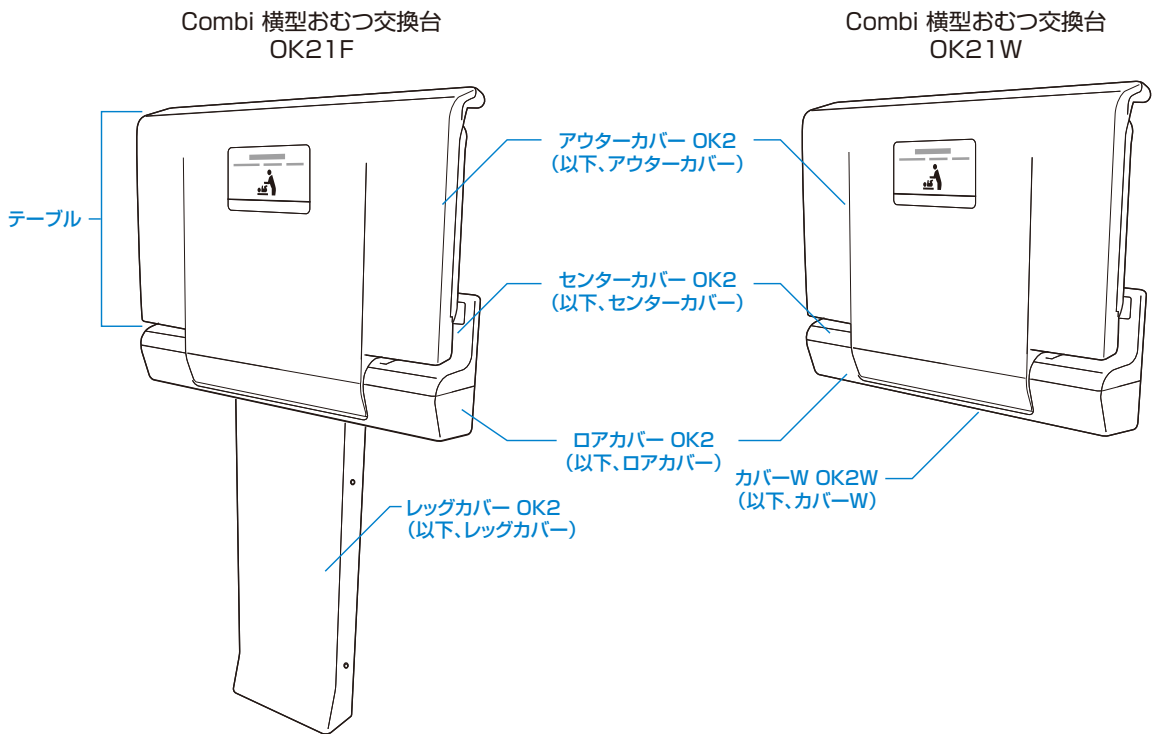
※製品の仕様は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※製品を廃棄される場合は、廃棄物処理法に基づき適正な廃棄をお願いいたします。

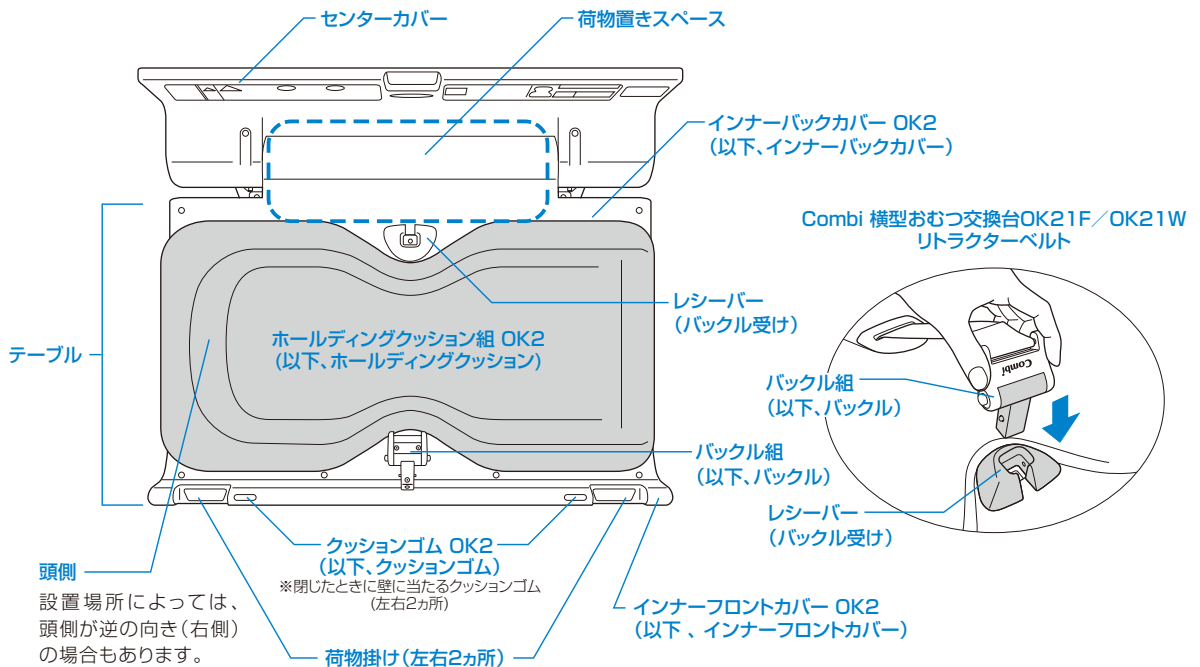
※製品の外形寸法および質量は参考値となります。

5 各部のなまえ

テーブルを閉じた状態



テーブルを開いて上から見た状態



6 ご使用方法

下記の警告内容に従って正しくご使用ください。

警告



転落のおそれあり!




離れない



目を離さない

※1  お子さまを立たせて使用しないでください。

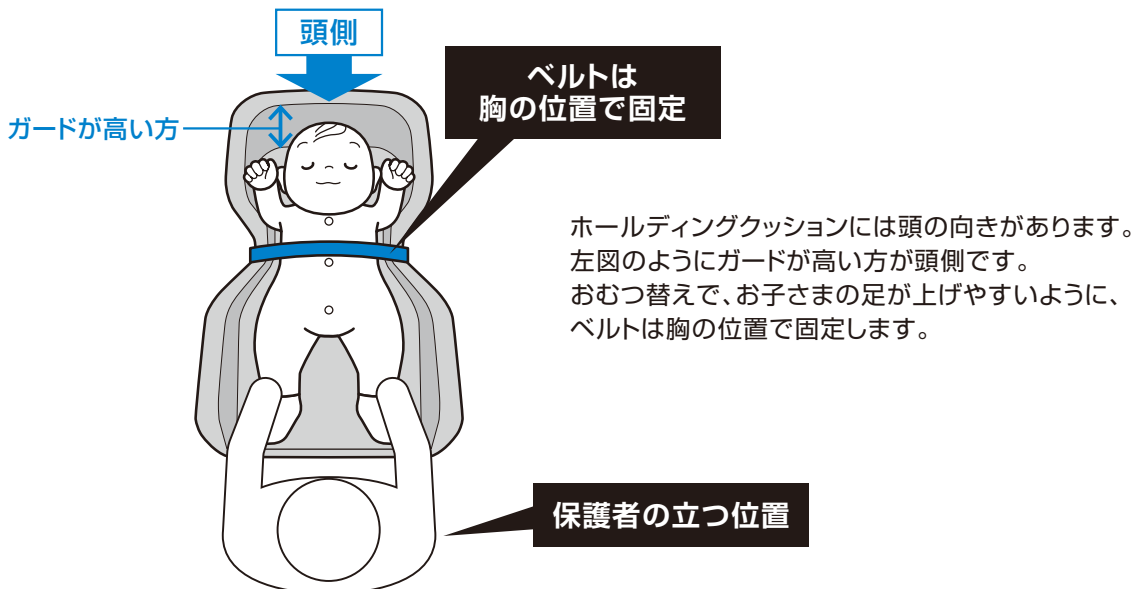
※2  ベルトは横ずれ防止のためであり、お子さまの転落を防止するものではありません。

●上記を守らないとお子さまが死亡または重傷を負う可能性があります。

※1  してはいけない禁止の内容 ※2  使用者の注意を喚起する

お子さまは思わぬ行動をする場合があります。転落による事故が起こらないように、十分ご注意ください。

お子さまのベルト固定の位置

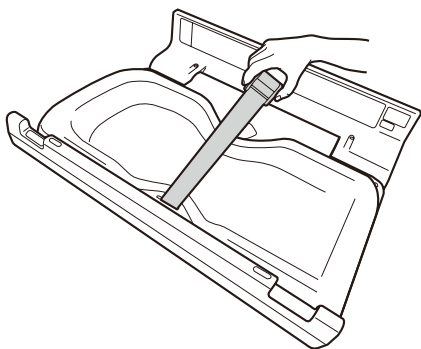


ベルトの使いかた

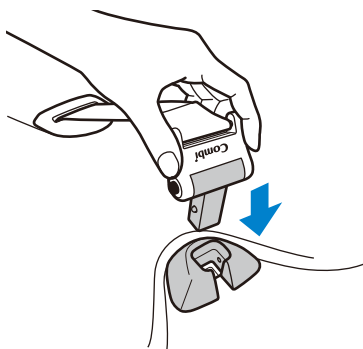
リトラクターベルト

■バックルを固定するとき

1 ベルトを引き出します。

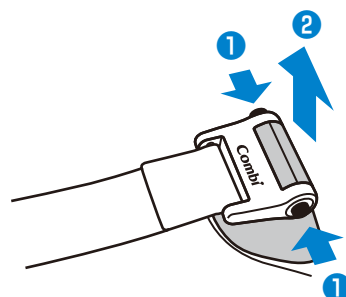


2 バックルをカチッと音がするまで差し込みます。



■バックルを解除するとき

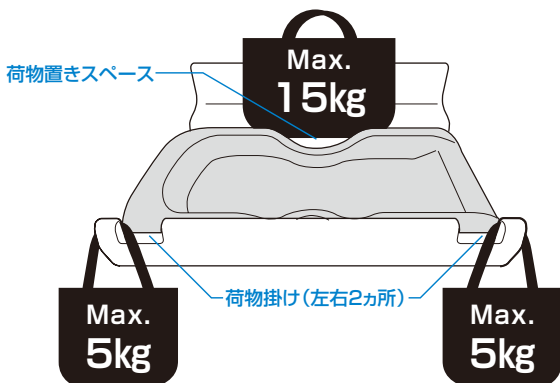
バックル側面のボタンを押すとはずれます。



荷物置き・荷物掛け

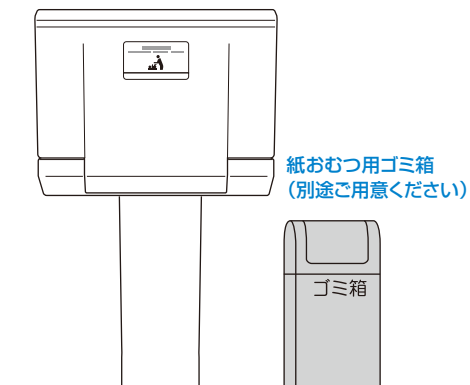
耐荷重合計40kg

(お子さまの体重15kgを含みます)



紙おむつ用ゴミ箱の設置

紙おむつを捨てる時、おむつ交換時にお子さまから離れないですむように、紙おむつ用ゴミ箱を製品の近くに設置してください。



Combi 横型おむつ交換台OK21 点検マニュアル

Combi 横型おむつ交換台OK21を快適に、また安全にご使用いただくために必要な「日常点検」「定期点検」の内容を記載したマニュアルです。

本書の内容に従い、毎日もしくは週ごとの「日常点検」、1年ごとの「定期点検」を必ず正しく実施してください。

⚠
警告

製品を安全に使用していただくために、日常点検と1年ごとの定期点検をお願いします。点検を怠った場合、製品の老朽化や破損が発見されず、ケガや重大事故の原因になります。

日常点検

日常点検は目視・触感で行います。点検で異常があった場合、項目によっては工具を使用して点検を行います。

毎日または週ごと

定期点検

工具を使用して1年ごとに各部品の点検を行います。

1年ごと

安全に長期間で使用いただくために、**定期点検サービス**(有料)をご用意しております。

詳しくは、サービスセンターへお問い合わせください。

点検の結果、部品交換が必要な場合があります。 ※補修部品の保管期間は生産終了後5年間です。

1 日常点検

点検の際は11ページの『日常点検チェックシート』をご利用ください。

日常点検は、毎日もしくは週ごとに、目視および触感で行う点検です。工具は使用しません。

●点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、サービスセンターまでご連絡・修理依頼を行ってください。

A 外観の確認

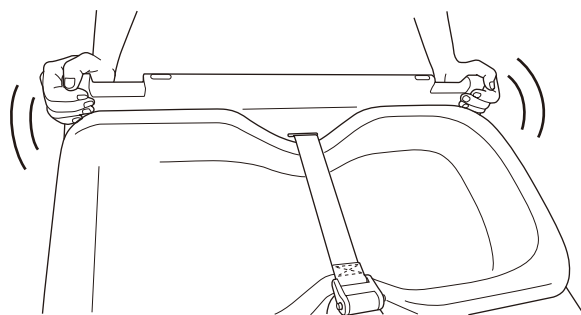
OK21F/OK21W共通(下記イラストはOK21F)

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
①部品のはずれ・紛失	目視	はずれ・紛失のないこと	修理
②テーブルのガタつき	動作・目視・触感	ゆすったときにガタつきがないこと	修理
③外観の割れ・変形	目視・触感	割れ・変形のないこと	修理

①～③本体を閉じたとき、開いたときで、それぞれ確認する。



②本体を閉じて、ゆすってガタつきを確認する。

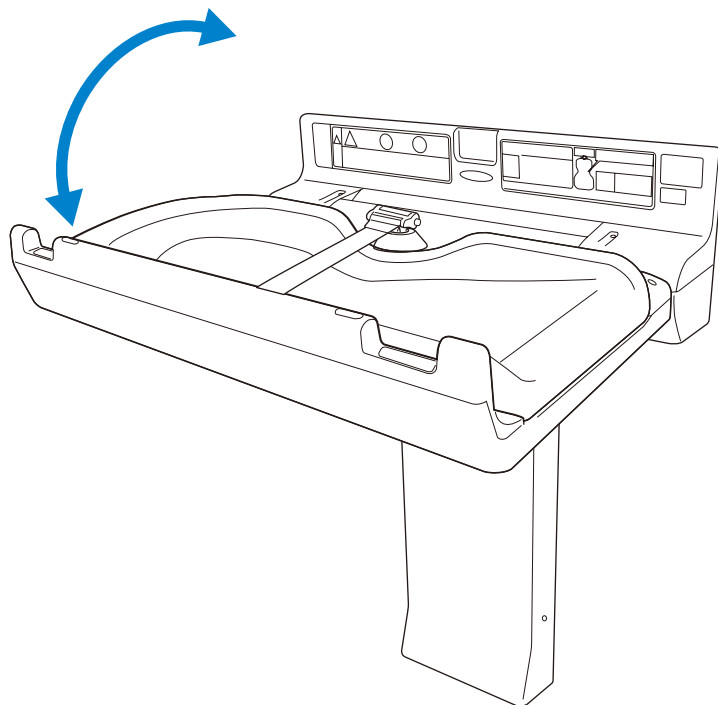


②本体を開いて、ゆすってガタつきを確認する。

B テーブルの開閉動作の確認

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
④テーブルの開閉	動作・目視・触感	開閉がスムーズであること	修理

④テーブルの開閉がスムーズであること。



C ステッカーの確認

点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
⑤誘導案内ステッカーの見やすさ	目視	はがれ、やぶれなく、書かれている内容が読めること	交換
⑥警告ステッカーの見やすさ	目視	はがれ、やぶれなく、書かれている内容が読めること	交換
⑦本体ステッカーの見やすさ	目視	はがれ、やぶれなく、書かれている内容が読めること	交換
⑧本体警告ステッカーの見やすさ	目視	はがれ、やぶれなく、書かれている内容が読めること	交換
⑨説明ステッカーの見やすさ	目視	はがれ、やぶれなく、書かれている内容が読めること	交換
⑩点検ステッカーの見やすさ	目視	はがれ、やぶれなく、書かれている内容が読めること	交換
⑪荷物マークステッカーの見やすさ	目視	はがれ、やぶれなく、書かれている内容が読めること	交換
⑫コンビロゴステッカーの見やすさ	目視	はがれ、やぶれなく、書かれている内容が読めること	交換

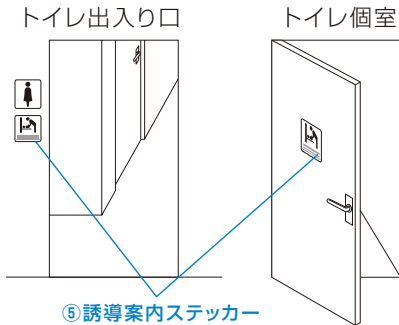
※ステッカーの種類については9ページで説明しています。

正常に貼付され、内容が確認できること（はがれや汚れ・変色・落書きなどで、見えなくなったり読めなくなったりしていないこと）。

※ステッカーは安全にご使用いただくための警告や使用上の注意が記載されています。



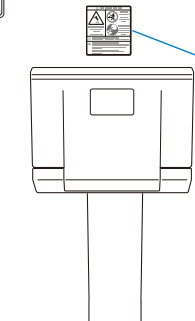
⑤誘導案内S BS 日英中韓
(以下、誘導案内ステッカー)
トイレ入口、トイレ個室ドア
などに貼付



⑤誘導案内ステッカー



⑥警告Sおむつ交換乳児
日英中韓S-3002
(以下、警告ステッカー)
製品近くの見やすい位置に貼付



⑥警告ステッカー

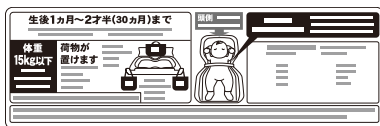


⑦本体S 日英中韓OK2
(以下、本体ステッカー(点字付き))
テーブルパネル正面

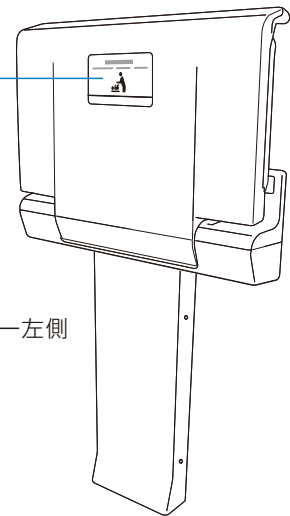
⑦本体ステッカー(点字付き)



⑧本体警告S 日英中韓OK2
(以下、本体警告ステッカー)
テーブルパネルを開いた、センターカバー左側



⑨説明S 日英中韓OK2
(以下、説明ステッカー)
テーブルパネルを開いた、
センターカバー右側



⑨説明ステッカー

⑫コンビロゴステッカー

⑩点検ステッカー

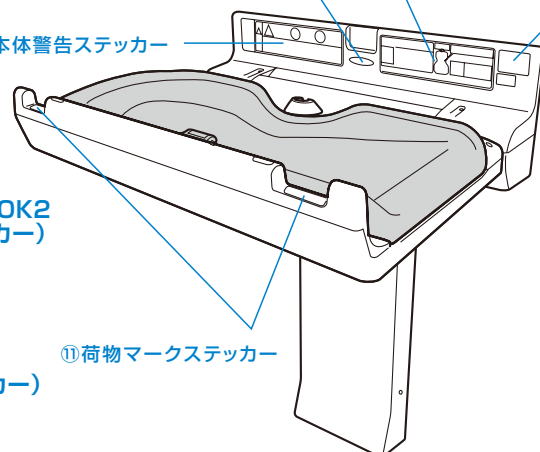


⑩点検S1年用銀
(以下、点検ステッカー)
センターカバー右端

⑧本体警告ステッカー



⑪荷物マークS 日英中韓OK2
(以下、荷物マークステッカー)
サイドガードの両側面



⑪荷物マークステッカー



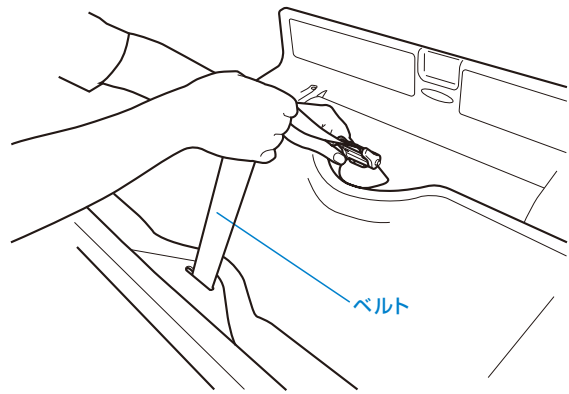
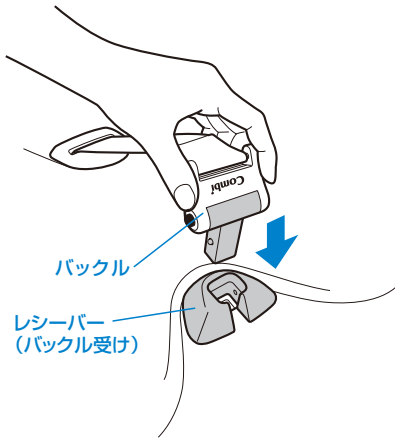
⑫コンビロゴS 2015
(以下、コンビロゴステッカー)
センターカバー中央

D ベルト、バックルの確認

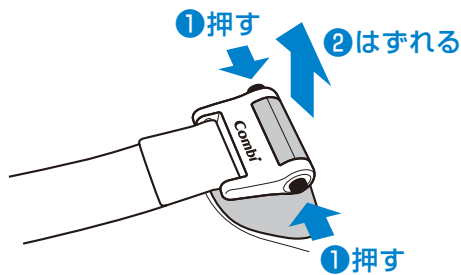
点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
⑬バックルの傷・割れ・ガタつき	目視・触感	傷・割れ・ガタつきがないこと	修理
⑭レシーバー(バックル受け)の傷・割れ・ガタつき	目視・触感	傷・割れ・ガタつきがないこと	修理
⑮ベルトのほつれ・損傷	目視・触感	ほつれ・損傷がないこと	交換
⑯バックルの固定・解除	動作・目視・触感	固定・解除が確実にできること	修理
⑰ベルトの収納	動作・目視	ねじれなくスムーズに収納できること	修理

<バックルの固定>

バックルをレシーバー(バックル受け)にカチッと音がするまで差し込み、ベルトを引っ掛けてはずれないこと。



<バックルの解除>



※ベルトに切れ・ほつれ・ひどい汚れなどがありましたら、ベルト交換(リトラクター付き)をおすすめします。部品交換「リトラクターの交換手順」(17ページ)を参照ください。

Combi

毎日または週ごと

Combi 横型おむつ交換台OK21 日常点検 チェックシート

このページをコピーして点検にご使用ください。記入した後は大切に保管してください。

点検項目	点検方法	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
		年	年	年	年	年	年	年
		/	/	/	/	/	/	/
外観の確認								
①部品のはずれ・紛失	目視							
②テーブルのガタつき	動作・目視・触感							
③外観の割れ・変形	目視・触感							
テーブルパネルの開閉動作の確認								
④テーブルの開閉	動作・目視・触感							
ステッカーの確認								
⑤誘導案内ステッカーの見やすさ	目視							
⑥警告ステッカーの見やすさ	目視							
⑦本体ステッカーの見やすさ	目視							
⑧本体警告ステッカーの見やすさ	目視							
⑨説明ステッカーの見やすさ	目視							
⑩点検ステッカーの見やすさ	目視							
⑪荷物マークステッカーの見やすさ	目視							
⑫コンピログステッカーの見やすさ	目視							
ベルト、バックルの確認								
⑬バックルの傷・割れ・ガタつき	目視・触感							
⑭レシーバー(バックル受け)の傷・割れ・ガタつき	目視・触感							
⑮ベルトのほつれ、損傷	目視・触感							
⑯バックルの固定・解除	動作・目視・触感							
⑰ベルトの収納	動作・目視							
点検者								
承認者								

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

設置場所:

3 定期点検

点検の際は16ページ『定期点検チェックシート』をご利用ください。

定期点検は、年1回を目安に定期的に行う点検です。

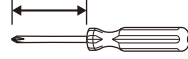
点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、サービスセンターまでご連絡・修理依頼を行ってください。

必要工具 プラスドライバー、スパナ、レンチ等

各部に使用しているネジは、十字穴の潰れ、ネジの変形、サビの発生がないか確認を行い、異常を発見した場合は、新品のネジに交換してください。

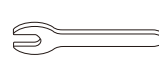
手動プラスドライバーNo.2

110mm以上



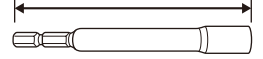
スパナ

(M6用・M8用・M10用)



ボックスレンチのソケット

115mm以上(M6用・M8用)



警告

- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品、工具以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- はずしたネジは組み付けの際にまた使いますので、なくさないようにしてください。



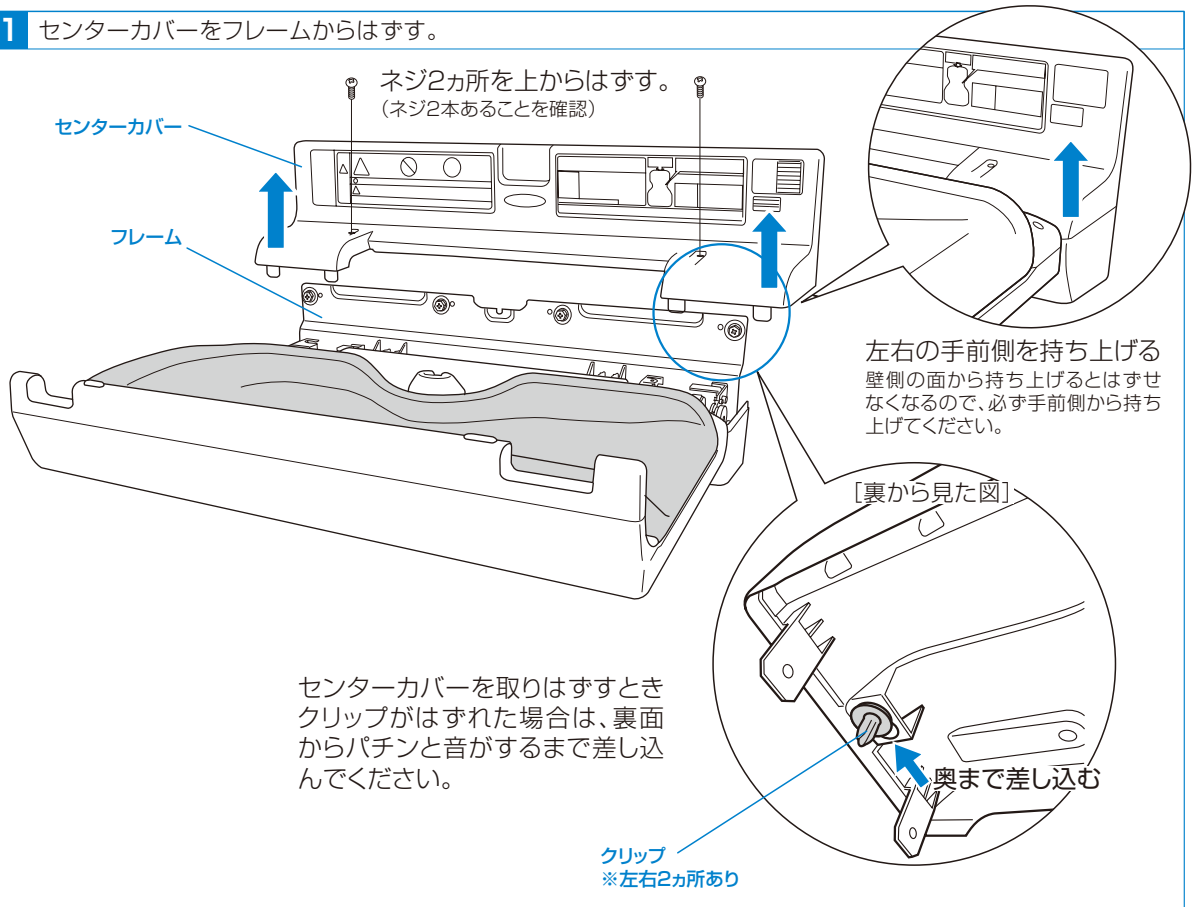
注意

- 上記長さ以上の工具(マグネット付き)をご用意ください。短いと取り付けが困難になる部位(ロアカバーとフレームの固定2カ所)があります。〈パーティション・石膏ボード取付の場合〉
ドライバー:軸長110mm以上
〈コンクリート、ALC、中空ブロック取付の場合〉
ボックスレンチ:ソケット長115mm以上、ソケット幅M6~M8使用
- 増し締めするときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。

取りはずし方法

各部ネジ等を確認するため、製品各部を取りはずします。

1 センターカバーをフレームからはずす。

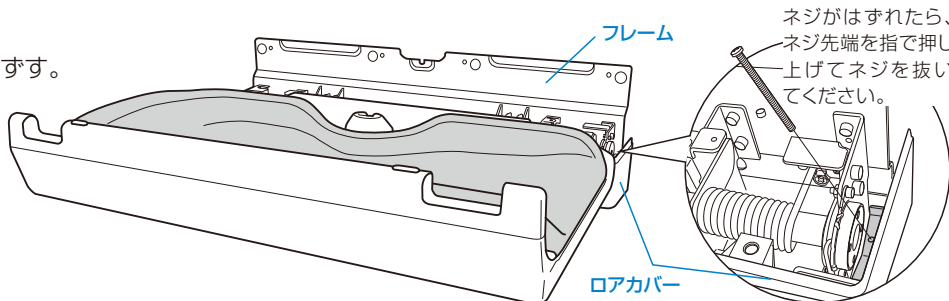


センターカバーを取りはずすときクリップがはずれた場合は、裏面からパチンと音がするまで差し込んでください。

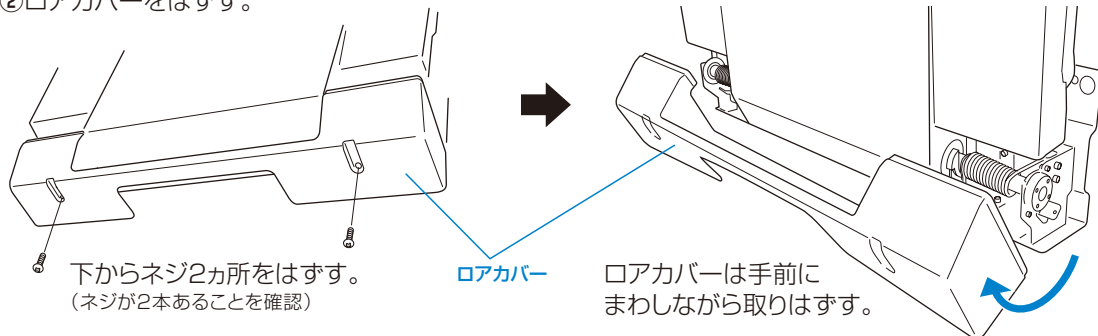
2 ロアカバーをはずす。

①ロアカバーを
フレームからはずす。

斜めの位置にある
ネジ2カ所をはずす。
(ネジが2本あるこ
とを確認)



②ロアカバーをはずす。

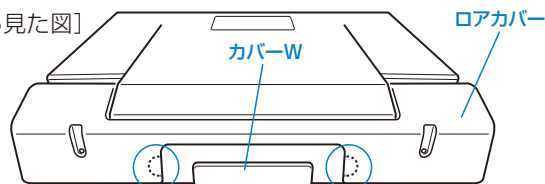


※定期点検確認後、再びロアカバーを取り付けるときは、本体フレームに差し込んだあと、壁に押し付けながらネジを締めてください。

〈OK21Wの場合〉

ロアカバーをはずすと、カバーWが
本体フレームに固定されています。
(左右2カ所)

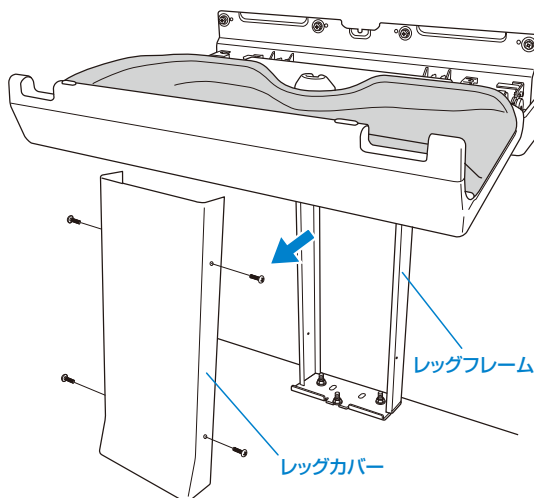
[下から見た図]



ネジ2カ所で固定されています。

3 レッグカバーをはずす。

〈OK21Fの場合〉



ネジは横より4カ所(白ネジ)をはずし、レッグカバーをレッグフレームから取りはずす。
(ネジが4本あることを確認)



注意

定期点検後、再びレッグカバーをとめるときは、白ネジの塗装がはがれないように気を付けて固定してください。

A 各種ネジのゆるみと本体フレームのサビの確認

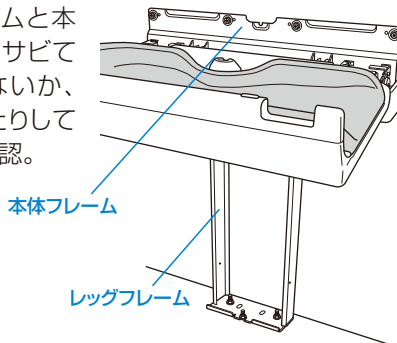
点検項目	点検方法	判断基準	不良の処置
①本体フレームとレッグフレームのサビ	目視・触感	ひどくサビていないこと サビで変形・欠けがないこと	使用中止・連絡 [※]
②レッグフレーム固定アンカーボルト	目視・触感(スパナ・レンチ等)	ゆるみがないこと	増し締め
③本体フレームとレッグフレームの固定ネジ	目視・触感(スパナ・レンチ等)	ゆるみがないこと	増し締め
④本体フレームの壁面固定ネジ	目視・触感(スパナ・レンチ等)	ゆるみがないこと	増し締め
⑤ロアカバー・レッグカバー(カバーW)固定ネジ	目視・触感(プラスドライバー№2)	ゆるみがないこと	増し締め
⑥インナーバックカバー・インナーフロントカバー固定ネジ	目視・触感(プラスドライバー№2)	ゆるみがないこと	増し締め
⑦バックルの固定ネジ	目視・触感(プラスドライバー№2)	ゆるみがないこと	増し締め
⑧センターカバーの固定ネジ	目視・触感(プラスドライバー№2)	ゆるみがないこと	増し締め

①～③はOK21F

※使用をいったん中止し、写真を撮ってサービスセンターへご連絡ください。

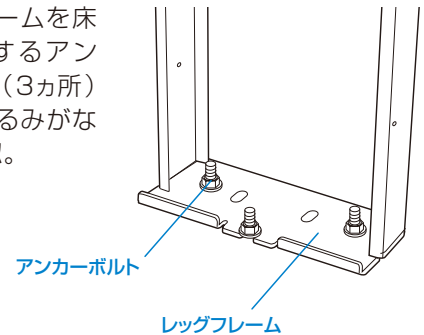
①本体フレームとレッグフレームのサビの確認

レッグフレームと本体フレームがサビて変形していないか、一部が欠けたりしていないかを確認。



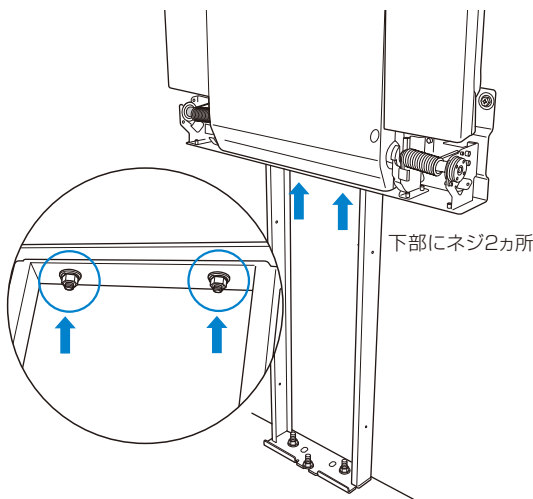
②レッグフレーム固定アンカーボルトの確認

レッグフレームを床面に固定するアンカーボルト(3カ所)の脱落、ゆるみがないかを確認。



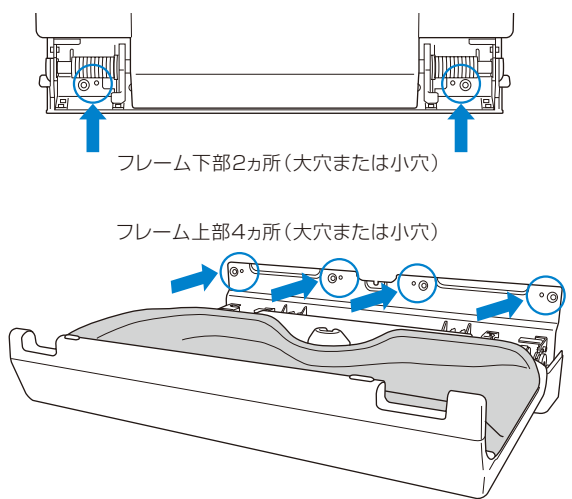
③本体フレームとレッグフレームの固定ネジの確認

本体フレームとレッグフレームを固定するネジ(2カ所)の脱落、ゆるみがないかを確認。



④本体フレームの壁面固定ネジの確認

本体フレームを壁面に固定するネジ(6カ所)の脱落、ゆるみがないかを確認。



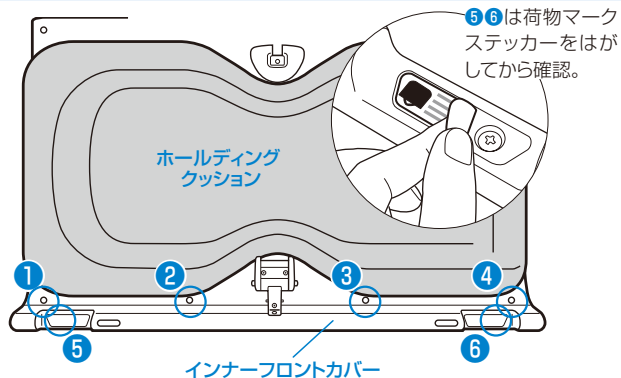
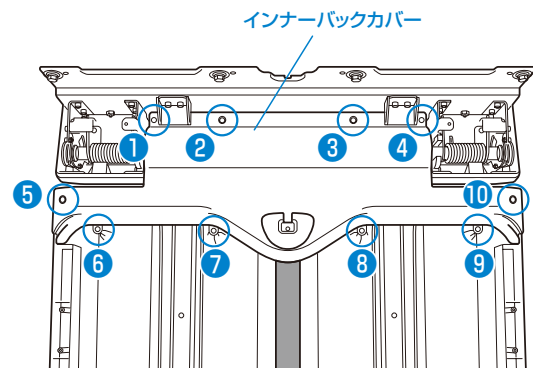
①～④を確認後、再びレッグカバー、ロアカバーを逆の手順で取り付け直し、しっかりと固定してください。

5 ロアカバー・レッグカバー（カバーW）固定ネジの確認

ロアカバー固定ネジ（4カ所）、レッグカバー固定ネジ（4カ所）の脱落、ゆるみがないかを確認。

6 インナーバックカバー、インナーフロントカバーの固定ネジの確認

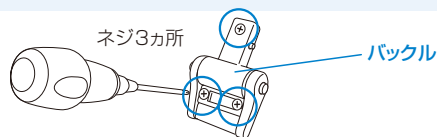
インナーバックカバー固定ネジ（10カ所）、インナーフロントカバー固定ネジ（6カ所）の脱落、ゆるみがないかを確認。



注意 ステッカーの粘着力が弱くなりますので新しい「荷物マークステッカー」2枚をご使用ください。

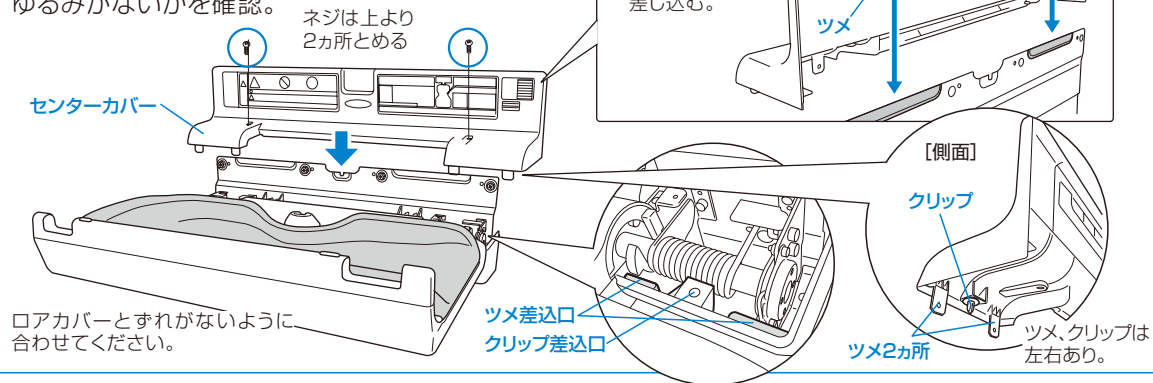
7 バックルの固定ネジの確認

バックルを固定するネジの脱落、ゆるみがないかを確認。



8 センターカバーの固定ネジの確認

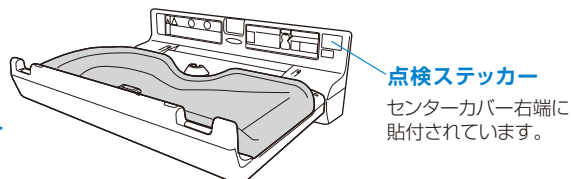
センターカバーを組み付け、固定ネジの脱落、ゆるみがないかを確認。



組み立て後、日常点検に従い、外観・動作確認などをしてください。

B 点検日の記入

定期点検後、本誌チェックシートの他、センターカバーに貼付の点検ステッカーに点検日を記入してください。



Combi 横型おむつ交換台OK21 定期点検 チェックシート

このページをコピーして点検にご使用ください。記入した後は大切に保管してください。
動作確認、外観確認は日常点検の内容をご参照ください。



増し締めするときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。

①～③はOK21F

点検項目	点検方法	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
		年	年	年	年	年	年	年
各種ネジのゆるみと本体フレームのサビの確認		/	/	/	/	/	/	/
①本体フレームとレッグフレームのサビ	目視・触感							
②レッグフレーム固定アンカーボルト	目視・触感(スパナ・レンチ等)							
③本体フレームとレッグフレームの固定ネジ	目視・触感(スパナ・レンチ等)							
④本体フレームの壁面固定ネジ	目視・触感(スパナ・レンチ等)							
⑤ロアカバー・レッグカバー(カバーW)固定ネジ	目視・触感(プラスドライバーNo2)							
⑥インナーバックカバー・インナーフロントカバー固定ネジ	目視・触感(プラスドライバーNo2)							
⑦バックルの固定ネジ	目視・触感(プラスドライバーNo2)							
⑧センターカバーの固定ネジ	目視・触感(プラスドライバーNo2)							
外観の確認								
①部品のはずれ・紛失	目視							
②テーブルのガタつき	動作・目視・触感							
③外観の割れ・変形	目視・触感							
テーブルパネルの開閉動作の確認								
④テーブルの開閉	動作・目視・触感							
ステッカーの確認								
⑤誘導案内ステッカーの見やすさ	目視							
⑥警告ステッカーの見やすさ	目視							
⑦本体ステッカーの見やすさ	目視							
⑧本体警告ステッカーの見やすさ	目視							
⑨説明ステッカーの見やすさ	目視							
⑩点検ステッカーの見やすさ	目視							
⑪荷物マークステッカーの見やすさ	目視							
⑫コンピロゴステッカーの見やすさ	目視							
ベルト、バックルの確認								
⑬バックルの傷・割れ・ガタつき	目視・触感							
⑭レシーバー(バックル受け)の傷・割れ・ガタつき	目視・触感							
⑮ベルトのほつれ、損傷	目視・触感							
⑯バックルの固定・解除	動作・目視・触感							
⑰ベルトの収納	動作・目視							
点検者								
承認者								

点検時に異常を発見したら、ただちに**使用を中止**し、サービスセンターまでご連絡ください。

特記事項

設置場所:

Combi 横型おむつ交換台OK21 部品交換手順書

日常点検や定期点検などで異常を発見し、新しい部品と交換する場合は、この交換手順書をよくお読みの上、正しく交換してください。部品交換作業は弊社でも有料にて承っております。詳しくは、サービスセンターへお問い合わせください。

リトラクターの交換手順

ベルトに異常を発見した場合は、『リトラクター』、『荷物マークステッカー』2枚を購入いただき、下記方法にて交換することをおすすめします。

必要工具 プラスドライバーNo.2

各部に使用しているネジは、十字穴の潰れ、ネジの変形、サビの発生がないか確認を行い、異常を発見した場合は、新品のネジに交換してください。



部品交換後は日常点検(7ページ)の内容に従い、必ず点検してください。

手動プラスドライバーNo.2



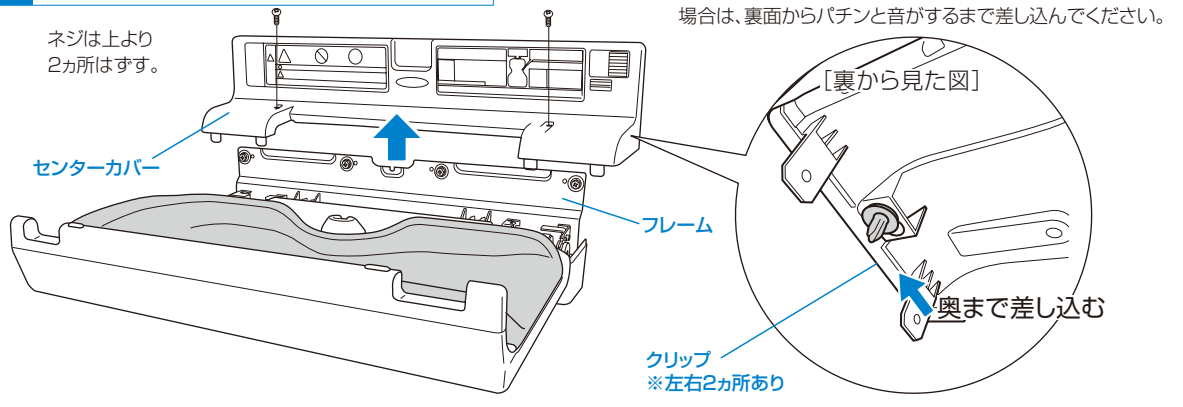
- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品、工具以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- はずしたネジは組み付けの際にまた使いますので、なくさないようにしてください。



- 上記長さ以上の工具(マグネット付き)をご用意ください。短いと取り付けが困難になる部位(ロアカバーとフレームの固定2カ所)があります。
(パーティション・石膏ボード取付の場合)
ドライバー:軸長110mm以上
(コンクリート、ALC、中空ブロック取付の場合)
ボックスレンチ:ソケット長115mm以上、ソケット幅M6~M8使用
- 増し締めするときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。

取りはずし方法

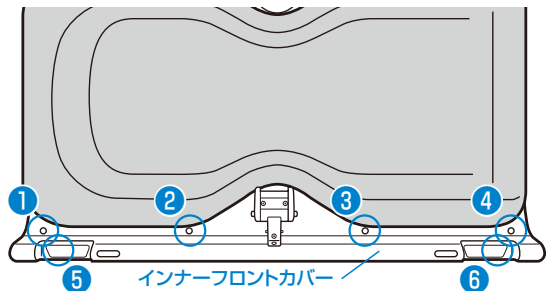
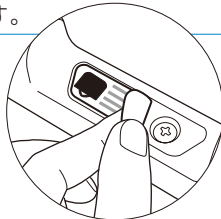
1 センターカバーをフレームからはずす。



センターカバーを取りはずすときクリップも一緒にはずれた場合は、裏面からパチンと音がるまで差し込んでください。

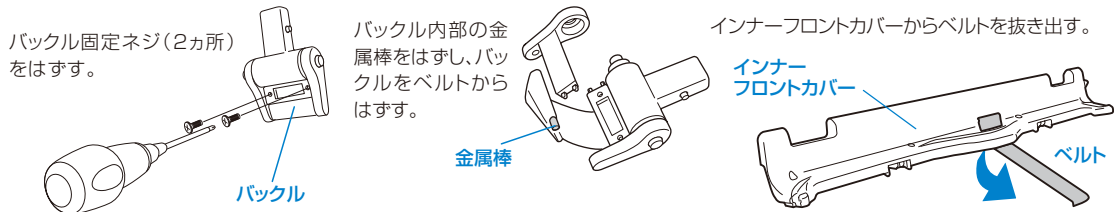
2 インナーフロントカバーをはずす。

荷物マークステッカー(5⑥2カ所)をはがし、インナーフロントカバー固定ネジ(6カ所)をはずす。

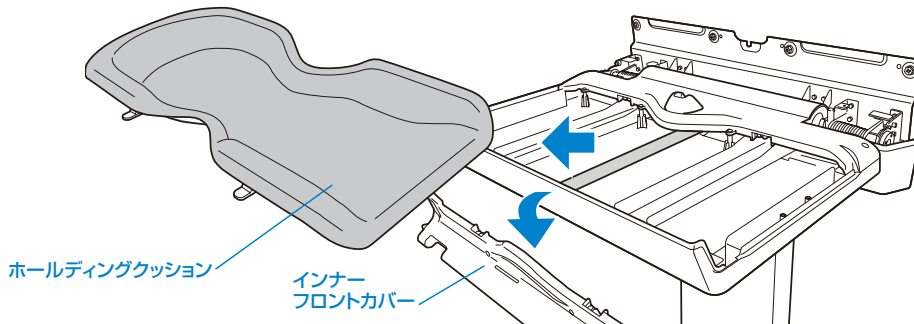


ステッカーの粘着力が弱くなりますので新しい『荷物マークステッカー』2枚をご使用ください。

3 バックルをはずし、インナーフロントカバーからベルトを抜き出す。

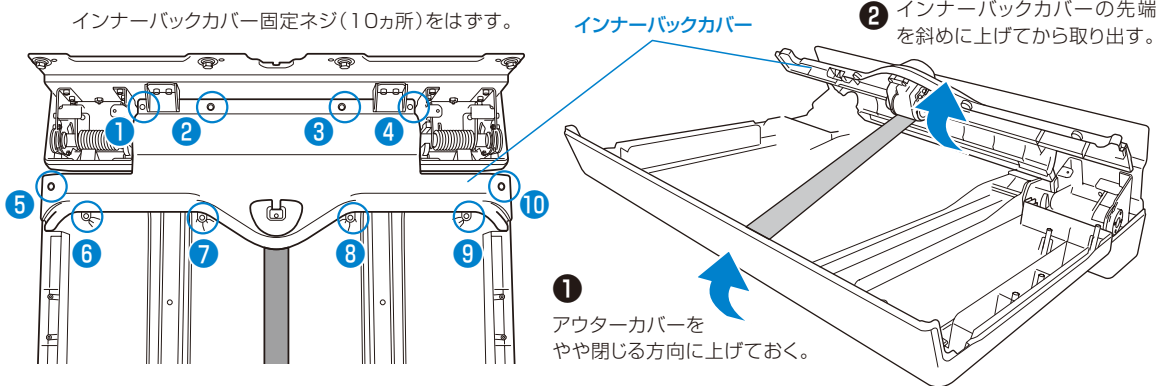


4 インナーフロントカバー、ホールディングクッションをはずす。

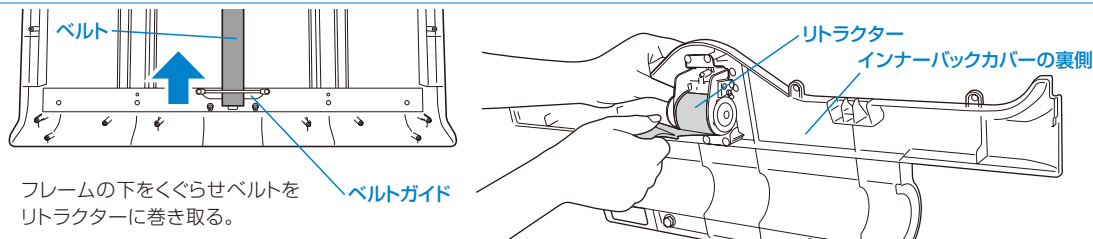


5 インナーバックカバーをはずす。

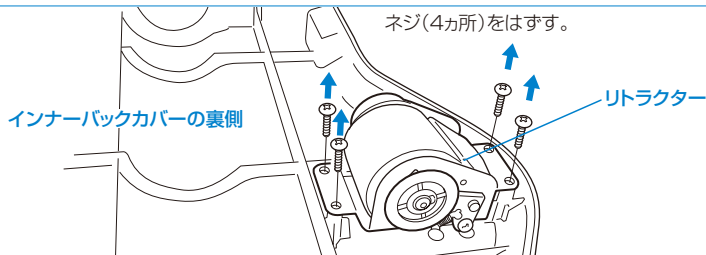
インナーバックカバー固定ネジ(10カ所)をはずす。



6 ベルトを巻き上げる



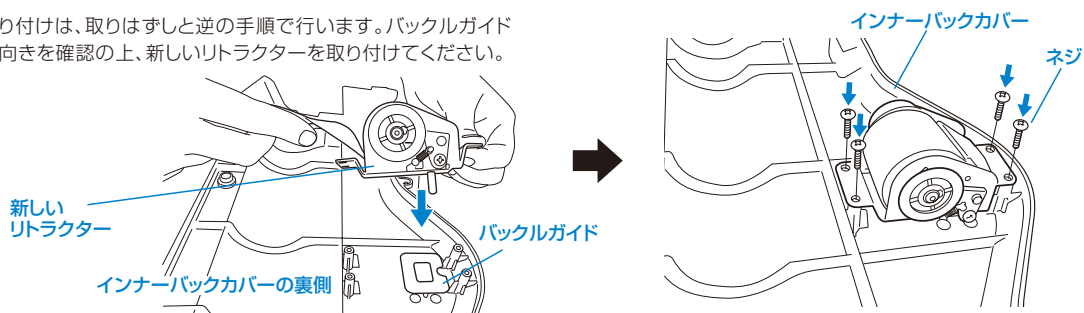
7 リトラクターをはずす。



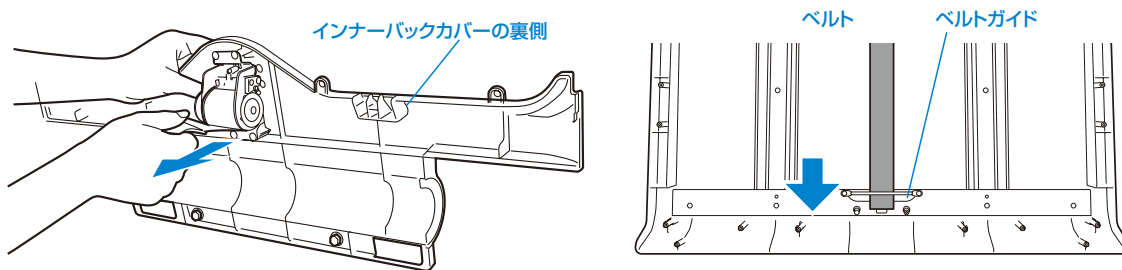
取り付け方法

8 リトラクターをインナーバックカバーに取り付ける。

取り付けは、取りはずしと逆の手順で行います。バックルガイドの向きを確認の上、新しいリトラクターを取り付けてください。



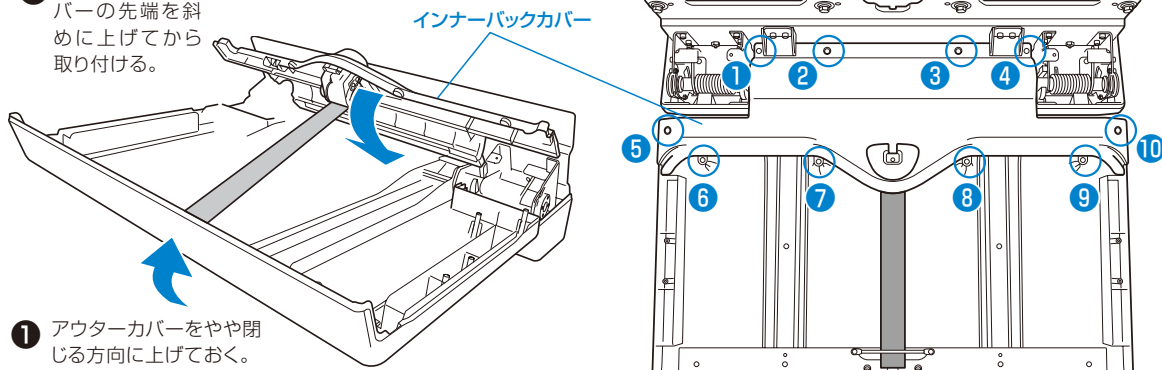
9 ベルトを引き出し、ベルトガイドの下をくぐらせる。



※ベルトがベルトガイドから抜けないように気を付ける。

10 インナーバックカバーをネジ(10カ所)で固定する。

② インナーバックカバーの先端を斜めに上げてから取り付ける。



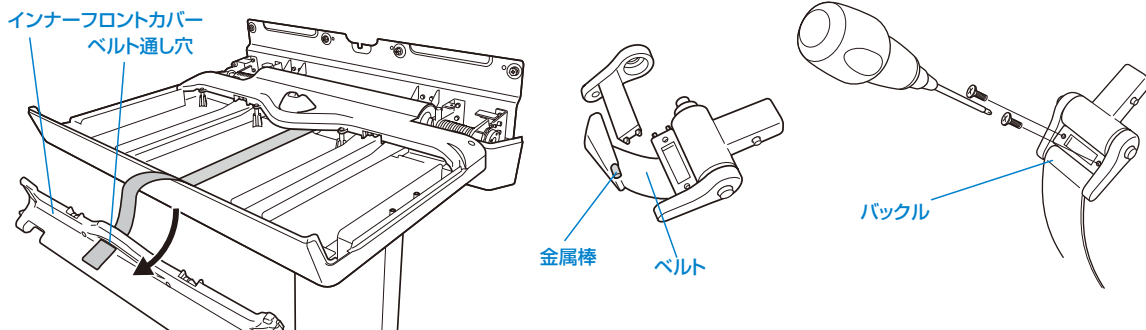
① アウターカバーをやや閉じる方向に上げておく。

11 インナーフロントカバーにベルトをくぐらせ、バックルをベルトに固定する。

① インナーフロントカバーのベルト通し穴からベルトをくぐらせる。

② バックルからはずしておいた金属棒にベルト端部を通す。

③ バックルにネジ(2カ所)固定。

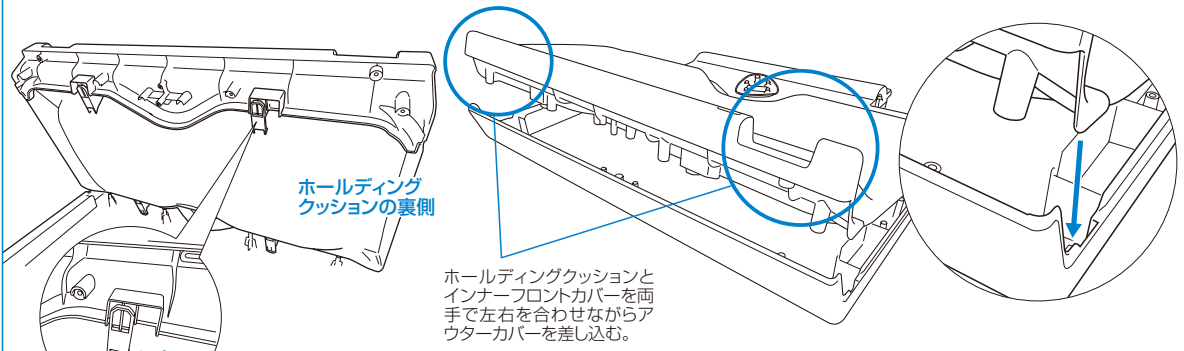


12 ホールディングクッションにインナーフロントカバーをはめ込んだあと、アウターカバーに差し込む。

①ホールディングクッションのツメをインナーフロントカバー裏の上記部位に合わせる。

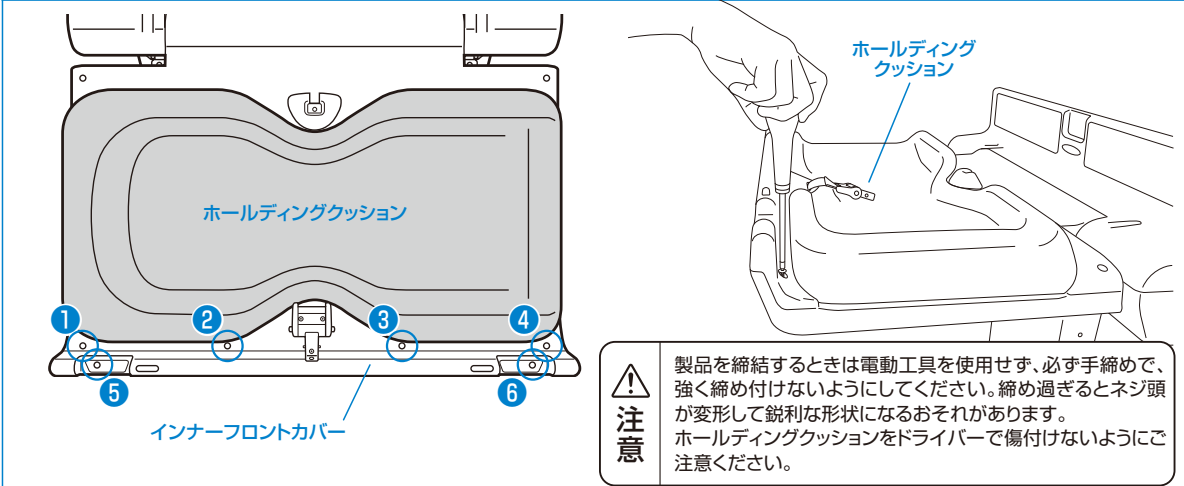
②ホールディングクッション両端をインナーフロントカバー両端の凹みに合わせながらはめ込む。

③インナーフロントカバーをアウターカバーに差し込む。



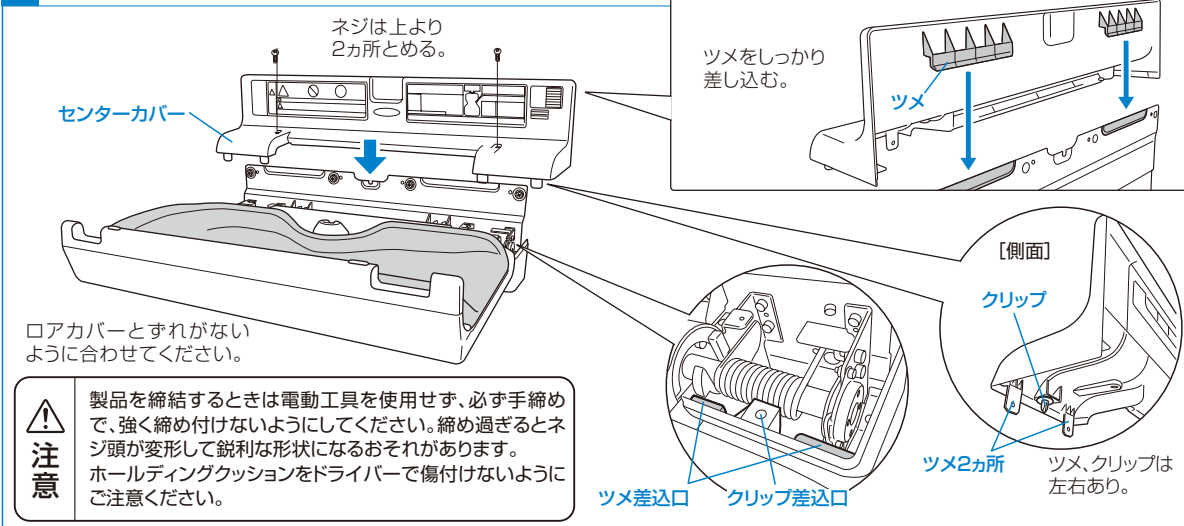
警告 ホールディングクッションの左右の向きを交換前と同じ、適正な方向にセットしてください。間違った向きにセットすると、誤った使いかたを誘発し、お子さまが落下するおそれがあります。

13 インナーフロントカバーを固定する。(6カ所)

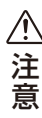


注意 製品を締結するときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。ホールディングクッションをドライバーで傷付けないようにご注意ください。

14 センターカバーを固定する。



ロアカバーとすれがないように合わせてください。

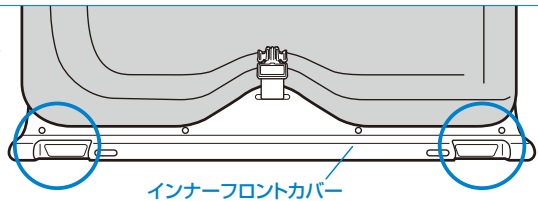
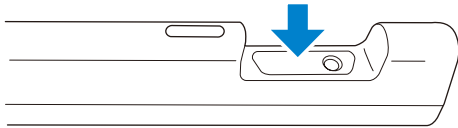


注意 製品を締結するときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。ホールディングクッションをドライバーで傷付けないようにご注意ください。

15 インナーフロントカバーに新しい荷物マークステッカー(2カ所)を貼る。

差し込みに合わせて貼ってください。

荷物マークステッカー



インナーフロントカバー

レシーバー(バックル受け)の交換手順

レシーバーに割れ・傷・ガタつき等があることを発見した場合は、『レシーバー』を購入いただき、下記方法にて交換することをおすすめします。

⚠ 警告

部品交換後は日常点検(7ページ)の内容に従い、必ず点検してください。

必要工具 プラスドライバーNo.2

各部に使用しているネジは、十字穴の潰れ、ネジの変形、サビの発生がないか確認を行い、異常を発見した場合は、新品のネジに交換してください。

手動プラスドライバーNo.2



⚠ 警告

- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品、工具以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- はずしたネジは組み付けの際にまた使いますので、なくさないようにしてください。

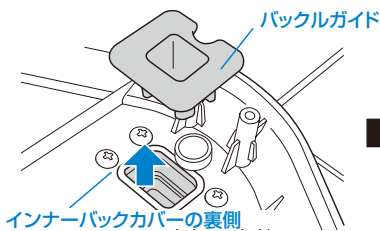
⚠ 注意

- 上記長さ以上の工具(マグネット付き)をご用意ください。短いと取り付けが困難になる部位(ロアカバーとフレームの固定2カ所)があります。
(パーティション・石膏ボード取付の場合)
ドライバー:軸長110mm以上
(コンクリート、ALC、中空ブロック取付の場合)
ボックスレンチ:ソケット長115mm以上、ソケット幅M6~M8使用
- 増し締めするときは電動工具を使用せず、必ず手締めで、強く締め付けないようにしてください。締め過ぎるとネジ頭が変形して鋭利な形状になるおそれがあります。

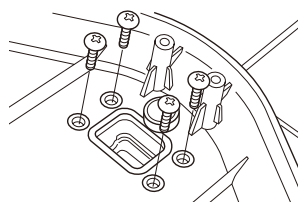
リトラクターの交換手順①~⑦(17~19ページ)を参照し、リトラクターを取りはずしてください。

取りはずし方法

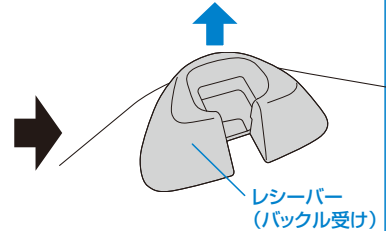
① インナーバックカバーの裏側からバックルガイドをはずす。



② レシーバー固定ネジ(4カ所)をはずす。

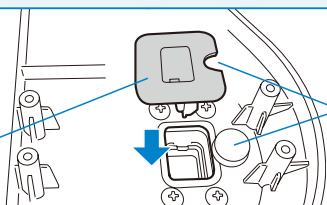


③ インナーバックカバーの表面からレシーバーをはずす。

**取り付け方法**

取りはずしたのと逆の手順でレシーバーを取り付け、バックルガイドを差し込みます。

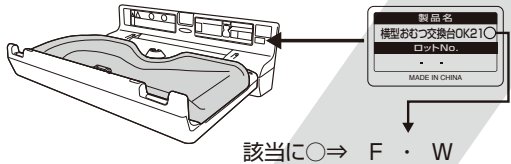
バックルガイド



半円の切欠き部分を下の円に合わせた位置にはめ込む。

リトラクターの交換手順⑧~⑩(19~21ページ)を参照し、リトラクターを取り付けてください。

保証書

製品名	Combi 横型おむつ交換台 OK21	製造番号 下記に製造番号をご記入ください。
保証期間	納品から正常の ご使用下で2年間	

お客さま	お名前		
	ご住所	〒	—
販売店名	TEL. () —		
	TEL. () —		
納品日	年	月	日

取扱説明書および本体注意書きラベルなどの記載内容、かつ正常な使用状態で故障した場合、本書を提示の上、ご購入業者または下記コンビウィズ株式会社にご連絡ください。保証期間内にて無料で修理いたします。

●保証期間内であっても、次の場合は有料修理となります。

- | | |
|---|--|
| ①本来の使用用途以外でのご使用に起因する、破損・故障。 | ⑦天災/天変地異(火災、落雷、噴火、洪水、津波、地震)、戦争/暴動等による不具合。 |
| ②適切な維持管理を怠ったことに起因する故障。 | ⑧本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入の無い場合、あるいは字句を書き換えられた場合。 |
| ③メーカー、販売元が指定する業者以外での修理・調整・改造に起因する破損・故障。 | ⑨本書のご提示がない場合。 |
| ④保管環境の影響など本製品以外の外部影響に起因する破損・故障。 | ⑩有料修理の場合に要する発送運賃。 |
| ⑤ご購入後の輸送、落下などに起因する破損・故障。 | |
| ⑥経年劣化、消耗部品の過酷な使用状況による故障。 | |

●上記保証は日本国内においてのみ有効です。

- 定期点検を実施しなかった場合の不具合は対象外です。
- 生産終了後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、当社サービスセンターにお問い合わせください。
- 保証書にご記載いただきました個人情報につきましては、個人情報保護法の規定に従い、お客様の故障修理についてのみ利用させていただきます。それ以外の用途には利用いたしません。

※定期点検の結果、不具合発生が認められた場合は、上記範囲内での保証とさせていただきます。

コンビウィズ株式会社

〒111-0041 東京都台東区元浅草2-6-7

サービスセンター TEL:03-5806-4621 FAX:03-5828-7630

(受付時間) 祝祭日を除く月～金 10:00～17:00

Combi

本マニュアルは、コンビウィズ ホームページ(www.combiwith.co.jp)からもダウンロード(PDF)できます。ご活用の程、お願いいたします。

●製品に関するお問い合わせ

コンビウィズ株式会社

本社 / 〒111-0041 東京都台東区元浅草 2-6-7
URL / www.combiwith.co.jp

●修理・点検に関するお問い合わせ / コンビウィズ(株) サービスセンター

[受付時間] 祝祭日を除く、月～金 10:00～17:00

TEL.03-5806-4621 FAX.03-5828-7630

○本書に記載されている文章、イラスト等の無断転載を禁止します。
(B5) 140686380 231030(1)